



JASDAQ

平成 22 年 6 月 24 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 シ ー マ
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 白 石 幸 栄
(J A S D A Q ・ コード 7 6 3 8)
問 合 せ 先 執 行 役 員 総 務 部 長 松 橋 英 一
電 話 0 3 - 3 5 6 7 - 8 0 9 8

元従業員による不祥事に関するお知らせ

この度、当社におきまして、元従業員（以下、当該元従業員という）による不正行為が発覚し、平成 22 年 6 月 24 日開催の取締役会におきまして、刑事告訴することを決議いたしましたので、ご報告申し上げます。

なお、このような事態が生じたことは、誠に遺憾であり、株主の皆様をはじめ、当社の取引先ならびに、お客様方に多大なご心配をお掛けしますことを深くお詫び申し上げます。

記

1. 不祥事の内容

平成 22 年 5 月までに、当社の商品在庫を適正に保管する管理責任者であった当該元従業員が、その職位を利用し、当社の商品在庫であるダイヤモンド・ルース（裸石）1 億 92 百万円（仕入価額）を業務上横領していたことが判明いたしました。

本件は、平成 22 年 6 月上旬に、当該元従業員が当時管理責任者であった商品部門の部員からの情報により、発覚いたしました。その後直ちに、総務部においては業務上横領行為に至った動機、および被害品の換価方法ならびに換価して得た金員の使途等、商品部門においては被害品の特定およびその横領方法ならびに被害総額の確定等を目的として社内調査を行いましたところ、上記事実が判明いたしました。

本件は、商品在庫を適正に保管する管理責任者による巧妙な手法による隠蔽工作が行われていたことから、発見が遅れてしまいました。当該元従業員につきましては、平成 22 年 6 月 23 日付けで懲戒解雇いたしました。

今後の対応につきまして、顧問弁護士と協議してまいりましたが、当社としましては、刑事告訴するとともに、民事手続きを通して被害額の回収に努めていく方針でございます。

2. 業績への影響について

当該元従業員が、業務上横領行為に至った動機、および被害品を換価して得た金員の使途、その他本件にかかる詳細につきましては、社内調査はほぼ終了し被害総額が確定したため、平成 22 年 5 月 10 日に公表しました「平成 22 年 3 月期 決算短信」を訂正し、本日開示いたしております。（（修正・数値データ修正あり）特別損失の計上および、それに伴う「平成 22 年 3 月期 決算短信」の一部修正について（平成 22 年 6 月 24 日開示）をご参照下さい。）

なお、過年度財務諸表への影響につきましては、各年度での影響額が確定できないため、平成 22 年 3 月

期の損失として取り扱うこととしました。

平成 22 年 6 月 29 日に提出予定の有価証券報告書には、上記修正後の数値で提出する予定です。

3. 原因の分析および今後の対応について

当社は、「内部統制システムの整備に関する基本方針」を制定し、経営管理体制の強化を推進してまいりましたが、そのような中で、本件のような事態を招き、誠に遺憾に存じます。この事実を厳粛に受け止め、内部管理体制を再度見直し、再発防止の徹底を図ってまいります。

商品在庫の棚卸資産管理業務において、当該元従業員がその職位を利用し横領行為に至った事に鑑み、商品の横領ができないように棚卸時に商品部門と商品部門以外の部署の役職員がペアとなりダブルチェックを行う等、部門内の業務を改善するとともに、役職者の業務に対しても他部門の役職者との相互牽制が機能する体制を構築します。また、コンプライアンスの徹底並びに各種の再発防止策の実施等により、このような不祥事を二度と起こさぬよう努めてまいる所存であります。

各位におかれましては、引き続きご支援ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

以 上